

## ワイレスインターホン 増設用 室内子機 DWH10A1

DECT準拠方式<sup>(※1)</sup>

このたびは本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

保証書付

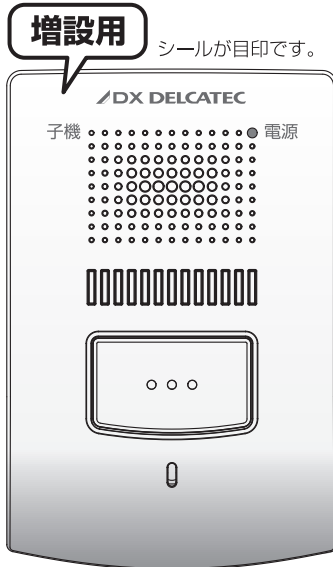
電源：専用ACアダプター（付属品）仕様

ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

はじめに | 親機への登録が必要です

登録作業が済んでいない室内子機は使用できません。

室内子機  
〈屋内用〉



この取扱説明書では、増設用 室内子機の親機への登録方法など、おもに増設に関する取扱いを説明しています。使用方法に関する詳細は、子機 親機セットに付属の取扱説明書をご覧ください。

(※1) DECT (Digital Enhanced Cordless Telecommunications) は ETSI (欧州電気通信標準化機構) の商標で、世界で広く普及している無線通信方式のひとつです。

### ■付属品

- ・専用ACアダプター × 1個
- ・壁面取付金具 × 1個<sup>(※2)</sup>
- ・木ネジ (4.1×16) × 2本
- ・小ネジ (M4×30) × 2本

(※2) 出荷時は本体にセットしています。

### ■安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



**警告**

誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど重大な結果に結びつく可能性があるもの



**注意**

誤った取り扱いをすると、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があるもの



一般的な注意事項



水ぬれ禁止



接触禁止



指示を守る



一般的な禁止事項



分解禁止



ぬれ手禁止



プラグを抜く

#### 指定の電源で使用する



**警告**

- ◇必ず付属の専用ACアダプターを使用する。  
他の機器のACアダプター等を使用すると火災や感電の原因となります。
- ◇付属の専用ACアダプターはAC100V (50/60Hz) コンセントを使用する。  
100V以外のコンセントに差し込むと、火災や感電、故障の原因となります。




#### 異常があるときは、すぐに使用をやめる




**警告**


- 次のような異常時は、ACアダプターをコンセントから抜き、販売店・工事店、または弊社カスタマーセンターに連絡してください。
- ◇煙がでる、変な臭いがする
- ◇内部に水や昆虫、物が入った
- ◇異音がかかる
- ◇ACアダプターのコードや、本体の外部が破損、劣化  
火災、感電、けが、故障の原因となります。




**次の場所に設置しない** 


**警告** 


- ◇雨水などがかかる場所  
軒下であっても、台風等により雨水が内部に侵入し、故障の原因となります。
- ◇直射日光の当たる場所、熱器具の付近や高温になる場所、湯煙や湿気、ホコリの多い所  
火災や感電、故障の原因となります。
- ◇強度の不足する場所、不安定な場所  
落ちたりして、けがの原因となります。
- ◇人の通行の妨げになる場所  
ACアダプターのコードを引っ掛けたりして、けがや破損の原因となります。

距離が離れていたり、100m以内でも、間に次のような障害物が存在したり、環境により、電波が弱くなってブツブツ音、通話の途切れが起きて使えないことがあります 


**注意** 


- 障害物
  - ・金属製のドアや雨戸(シャッター)
  - ・複層ガラスの窓
  - ・アルミ箔入りの断熱材が入った壁
  - ・壁を何枚も隔てたところ
  - ・コンクリートやタン製壁
- 環境
  - ・テレビ、ラジオ、携帯端末の電波塔が近くにある場合
  - ・夜間のシャッターの戸締り
  - ・テレビ、ラジオ、パソコン、FAX、電波式送信機や受信機など電波を発生している家電製品やその他のOA機器が近くにある場所
  - ・近くでPHSを使用している場合
  - ・各機器をそれぞれの階や家屋等で使うとき

**警告** 


**スピーカーを耳にあてない** 


呼出音や通話音による難聴等の原因となります。

**警告** 


**分解や改造はしない** 


分解や改造は法律により禁止されていますので、絶対にしないでください。

**警告** 


**結露した状態で使用しない** 


故障の原因となります。  
電源を止め、結露がとれた後に電源供給し直してください。

**警告** 


**ぬれた手でさわらない** 


感電の原因となります。

下記のような場所や条件では、人体や医療機器等に影響を与える場合がありますので、取り付けないでください 


**警告** 


- ◇病院等の使用を禁止された区域
- ◇医療用電気機器の近く（手術室、集中治療室、CCU等） ※CCU：冠動脈疾患監視病室
- ◇自動ドア、火災報知機等の自動制御機器の近く
- ◇心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内の位置  
誤動作による事故の原因となることがあります。

**警告** 

**雷が鳴り出したら本体やコードに触れない** 

感電の原因となります。

**注意** 

**お手入れの注意** 

ベンジンやアルコール、シンナー等は使わず、乾いた布で乾拭きしてください。  
溶けたり、変形、変色の原因となります。

## ■電波について

この製品は、1,895.616~1,902.528MHzを使用する無線設備です。

この製品には1.9GHz帯を使用する無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す右記のマークが表示されます。（一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB-STD-T101」準拠）

1.9-D

## この製品の使用周波数に関するご注意

- この製品の使用周波数帯では、PHSの無線局のほか、異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。この製品は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、この製品から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、この製品のACアダプターを抜いて、ご購入店、弊社カスタマーセンターにご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えばパーティションの設置等）についてご相談ください。
- この製品をCSデジタル放送を受信している環境で使用する場合、CSデジタル放送のアンテナ伝送路にこの製品の電波が混入（テレビ映像にモザイク状のノイズが発生）する可能性があります。この場合、シールド性の高い衛星放送対応の分波器、接続ケーブルをお使いいただくことで影響を軽減できる場合があります。

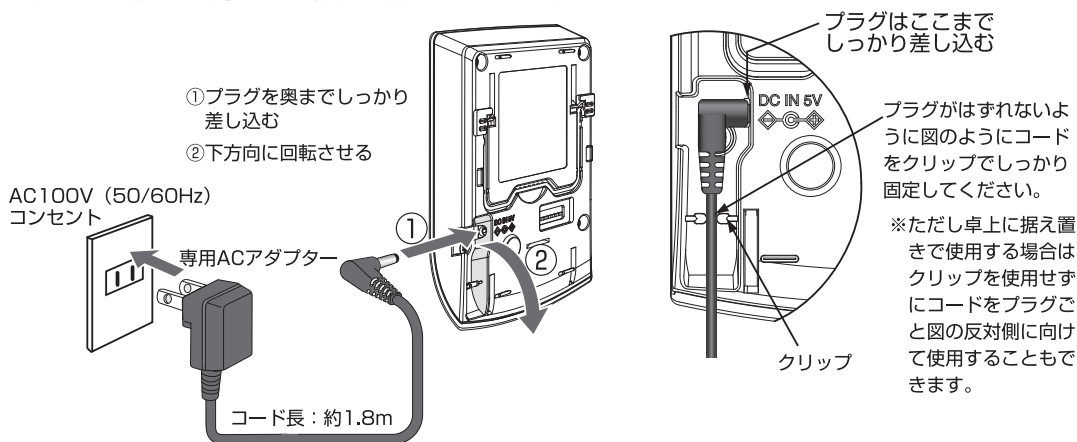
## ■使用方法

### 1. 電源

#### 専用ACアダプターの使用方法

付属の専用ACアダプターを使用してください。

図のように接続し、電源が正しく供給されると、電源ランプが緑色に点滅し「ピー」という確認音が鳴ります。電源ランプが緑色に点灯しない場合は、再度プラグを差し直してください。



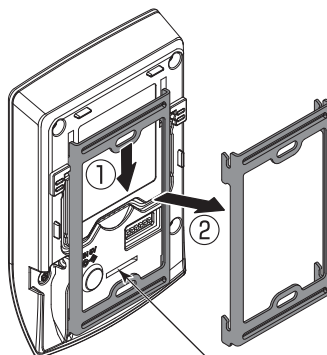
#### 注意

必ず、付属の専用ACアダプターを使用してください。他の機器のACアダプターを接続すると、故障や感電等の原因となります。

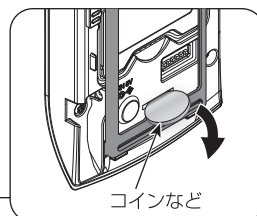
#### 壁面取付金具のとりはずし方法

出荷時は本体にセットされています。図①②の手順ではずしてください。

- ① 金具を下向きにスライドさせる
- ② 金具を取りはずす。



図のようにコインなどを使用することで簡単に金具が取りはずせます。



コインなど

### 2. 操作方法

#### 自動応答モードについて

このモードは室内子機だけの機能です。呼出に应答して、**押ボタンを押さなくても**、自動で通話に切り換ります。室内子機のセレクトスイッチのNo.5の設定により選択できます。(⇒5ページ参照)

- 通常応答モード…OFF (下側) : 押ボタンを押して应答するモード⇒室内子機の電源ランプが緑色に点灯します。
- 自動応答モード…ON (上側) : 自動で通話がはじまるモード⇒室内子機が自動応答中に赤色に点灯します。

#### <重要>



#### 注意

- 自動応答モードに設定する室内子機は1台のみのご使用をお願いします

複数台でこの設定にしますと、自動応答モードにした各室内子機からの应答信号が、同時に親機に戻ってきますので相互に干渉してつながらないことがあります。また、つながった場合でも、呼び出したい室内子機ではないことや、自動応答モードでない室内子機とは、このモードを解除するまでつながりません。

- 呼出音は鳴りません

呼び出した方の声か室内子機から突然でますので、お年寄りや心臓の弱い方には大声で呼びかけないよう注意してください。

### 3. 親機への登録 (最初に行なってください)

このように  
必要です

- はじめてお使いになるとき
- 登録削除(4.登録削除(初期化))について後、再登録するとき

室内子機を増設する場合は、最初に以下の手順で登録を行なってください。

※登録作業が済んでいない室内子機は使用できません。

※1つの親機に最大6台まで子機を登録できます。(7台以上登録しようするとエラー音が鳴って登録できません)

※複数の室内子機を登録する場合でも、登録作業は1台ずつ行なってください。

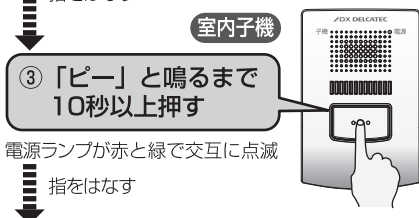
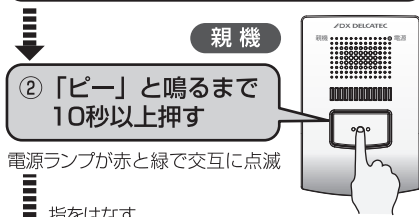
準備

親機と室内子機を手の届く範囲に準備します。  
ウラ面のセレクトスイッチ「6」を下側にします。

セレクトスイッチ  
の設定

親機  
室内子機  
6 ↓下にする

#### ① 親機、室内子機の電源を入れる



#### ④ 自動で登録作業開始

「ピー」と鳴れば登録完了

- ・ 「ピッピッピッ」と鳴った場合 } ⇒②から操作
- ・ 子機を続けて登録する場合 }

①親機と室内子機に電源を供給します。

②親機の押ボタンを「ピー」と音が鳴るまで押し続けます(10秒以上)。  
電源ランプが赤と緑で交互に点滅します。

- 登録作業を中断するときは、もう一度押ボタンを押します。
- 登録作業は1分間でキャンセルされますので、その場合は②からやりなおしてください。

③室内子機の押ボタンを「ピー」と音が鳴るまで押し続けます(10秒以上)。  
電源ランプが赤と緑で交互に点滅します。

④自動で登録作業が始まります。

登録作業が完了すると室内子機が「ピー」と音が鳴ります。  
電源ランプが一旦消灯し、通話可能になるまで電源ランプが点滅します。

- 「ピッピッピッ」とエラー音が鳴った場合は登録作業が正常に完了していませんので、②からやりなおしてください。

※ 電源が切れても登録情報は消えません。

※ 親機に別の親機を登録することはできません。

※ 万一登録できない場合は、次の「4. 登録削除(初期化)について」を行なった後、全ての子機を再登録してください。

### 4. 登録削除(初期化)について

室内子機に登録されている親機の登録情報や、親機に登録されている子機の情報削除(初期化)するには、以下の手順で操作を行なってください。

このように  
必要です

- 別の親機に再登録したいとき
- 子機を交換する場合で、すでに最大登録台数の6台が登録されているとき
- 親機が複数台あり、各グループの組み合わせを変更したいとき
- 使用しない子機の登録を削除したいとき

注意) 親機の場合、すでに登録している全ての子機の情報削除されます。(特定の子機を選んで削除することはできません)

準備

ウラ面のセレクトスイッチ「6」を上側にします。

セレクト  
スイッチ  
の設定

親機  
室内子機  
6 ↑上にする

室内子機または親機

#### ① 押ボタンを押しながら電源を入れる



#### ② 10秒以上押し続ける

「ピー」と鳴れば登録削除(初期化)を完了します  
(親機の場合はもう1回「ピー」となります)

#### ③ セレクトスイッチを下に戻す

①押ボタンを押しながら電源を供給します。  
電源ランプが緑色に点滅します。

②そのまま、押ボタンを10秒以上押し続けます。  
自動で登録削除(初期化)作業が始まります。

「ピー」と鳴れば登録削除(初期化)を完了します。  
(親機の場合はもう1回「ピー」となります)

電源ランプは緑色点滅のままです。

③上記「準備」で操作したセレクトスイッチを下側に戻します。

※ 再びシステムを使用できるようにするには登録が必要です。  
(登録のしかたは「3. 親機への登録」参照)

## 5. セレクトスイッチの設定

### セレクトスイッチ(拡大)

本体ウラ面



※工場出荷時のスイッチ設定は、すべて下側です。

#### 室内子機の機能設定一覧

	音量	セレクトスイッチの設定	
音通話・呼出	大		下 下
	中		下 上
	小		上 下
通話音量	最小		上 上
呼出音量	OFF		上 上

#### ①通話音量・呼出音量の設定 (セレクトスイッチ1、2)

スイッチをの位置にすることで、4段階の音量に切り換えることができます。設置する周囲の環境に合わせて切り換えてください。

(注) 鳴っている途中で切り換えても音量は変わりません。

(注) 呼出音量と呼出LEDの設定を両方とも「OFF」や「消灯」に設定すると、呼び出されていることが分からなくなりますのでご注意ください。

	音色	セレクトスイッチの設定	
呼出音	フブフ、フブフ		下
	ジャンジャン ジャンジャン		上

#### ②呼出音の選択 (セレクトスイッチ3)

スイッチをの位置にすることで、2種類の呼出音から1つを選択できます。(呼び出す相手側の呼出音も変更されます)

	点灯 / 消灯	セレクトスイッチの設定	
呼出LED	点灯		下
	消灯 <sup>※1</sup>		上

#### ③呼出LEDの点灯/消灯の設定 (セレクトスイッチ4)

スイッチをの位置にすることで、呼出LEDの点灯または、消灯を切り換えることができます。

(※1) 自動応答時も消灯となります。

	無 / 有	セレクトスイッチの設定	
自動応答	無		下
	有 <sup>※2</sup>		上

(※2) 自動応答モードにしていない室内子機は、一瞬、呼出音が鳴ることがあります。

#### ④自動応答の設定 (セレクトスイッチ5)

スイッチの位置により、自動応答の設定ができます。親機または他の室内子機からの呼出に対して、室内子機は押ボタンを押さなくても自動で応答し、通話できるようになります。手が離せない方への呼出に便利です。

#### △ 注意

自動応答モードに設定する室内子機は1台のみでの使用をお願いします。複数台この設定をすると、呼び出したい室内子機とつながらないことや、自動応答モードでない室内子機とは、このモードを解除するまでつながりません。

(注) 玄関子機からの呼出には自動応答しません。

	使用時 / 登録削除	セレクトスイッチの設定	
登録削除	使用時		下
	登録削除		上

#### ⑤登録の削除 (セレクトスイッチ6)

登録している親機情報が削除されます。

※このセレクトスイッチを「上側」にするだけでは登録は削除されません。

※登録削除されたらスイッチを元(下側)に戻してください。

## ■故障と判断するまえに

# 室内子機

動作しない

- A** 停電になっていませんか。 → 復旧するのを待ってください。
- B** ACアダプターがコンセントから外れていませんか。 → ACアダプターをコンセントに差し込んでください。
- C** ACアダプターのプラグが室内子機から抜けていませんか。 → プラグを室内子機にしっかり差し込んでください。⇒3ページ
- D** ACアダプターのプラグを親機から抜きもう一度入れても同じですか。 → 室内子機からプラグを一度抜いて、しばらくしてからもう一度入れてください。
- E** 室内子機および親機の呼出音量をOFF、呼出LEDを消灯していませんか。 → 呼出音量と呼出LEDの設定を切り換えてください。⇒5ページの5.
- F** 電源ランプが点滅していませんか。(点滅を始めるときに「ピーピー」と鳴ります。また押ボタンを押すと「ビッビッ」と鳴る。) → 親機に電波が届いていません。⇒使用する場所や向きを変えてください。親機に未登録の可能性があります。⇒4ページの3.
- G** 電源ランプは消灯していますか。 → 上記A～Fを確認しても点灯しない場合は故障の可能性があります。⇒ご購入店、または弊社カスタマーセンターにご相談ください。

登録できない

- H** 室内子機と親機が離れていたり、すでにこの室内子機が登録されている、または親機に6台の子機が登録されていませんか。 → 室内子機と親機を近づけて登録作業をしてください。  
登録削除のセレクトスイッチ「6」を下にしてください。⇒4ページの3.  
親機の登録を一旦削除して(⇒4ページの4.)、再度室内子機を親機に登録してください。⇒4ページの3.

親機が動作しない

- I** 他の子機と通話中になっていませんか。 → 終了するまで待ってください。
- J** 親機の電源ランプは点灯していますか。 → 親機の電源を確認してください。
- K** 親機に登録していますか。(押ボタンを押すと「ビッビッ」と鳴る。) → 登録してください。⇒4ページ

相手の声が小さい  
またはエコーや反響音がる

- L** 通話音量の設定が「最小」または「小」になっていませんか。 → 「中」または「大」にしてください。⇒5ページ
- M** 同時に話していませんか。 → 相手が話し終えてから話してください。  
※通話は音の大きい方が優先されます。
- N** 室内子機の周囲の音が大きくありませんか。 → 周囲の音を小さくしてください。
- O** 相手のマイク穴をふさいでいませんか。 → マイク穴をふさがないでください。相手が玄関子機の場合は、雨水等を取り除いてください。
- P** 本体を振動させていませんか。 → 振動させないでください。振動がマイクに伝わりこちらの音が優先されます。
- Q** マイク穴に異物(ホコリ、雪や雨水など)がつかっていませんか。 → 異物を取り除いてください。

こちらの声が相手に聞こえない

- R** 相手の周囲の音が大きくありませんか。 → 相手の周囲の音を小さくしてください。
- S** 室内子機のマイクから離れすぎていませんか。 → 室内子機に向かって(30cm以内)話してください。
- T** 呼出音量の設定が「OFF」または「小」になっていませんか。 → 「中」または「大」にしてください。⇒5ページ

呼出音が小さい

## ■仕様

### 〈電気性能規格〉

品名	室内子機
型番	DWH10A1
標準規格	ARIB STD-T101準拠
周波数 (MHz)	1,895.616~1,902.528(1.728MHz step)
通信方式	時分割多元接続方式
通話可能距離 (m)	100(見通し)
増設子機の登録台数	親機に対して最大6台(室内子機+玄関子機)登録可
電源	専用ACアダプター 入力:AC100V(50Hz/60Hz) 出力:DC5V、0.5A
消費電力 (W)	0.1(待機時) 0.7(通話時・無音)
使用温度範囲 (°C)	-10~+40
外形寸法 (mm)	135(高さ)×89(幅)×22(奥行)
質量 (g)	130(ACアダプターを除く)
付属品	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 専用ACアダプター(コード長約1.8m) (UCL305-0505-JDXA-0004) ×1個</li> <li>• 壁面取付金具 ×1個</li> <li>• 木ネジ(4.1×16) ×2本</li> <li>• 小ネジ(M4×30) ×2本</li> </ul>

### 〈動作仕様〉

品名	室内子機
型番	DWH10A1
呼出	親機と室内子機(※1)へ (玄関子機へは不可)
通話時間	無制限(押ボタンを押すまで)
通話音量/呼出音量 (通話音量と呼出音量は連動)	通話 4段階(大/中/小/最小) 呼出 4段階(大/中/小/OFF)(※2)
呼出音	2種類から選択
呼出LED	ON/OFF切換
自動応答	ON/OFF切換(※3)
通信不可時の警告	電源ランプの点滅と警告音

※1 室内子機を2台以上増設した場合です。

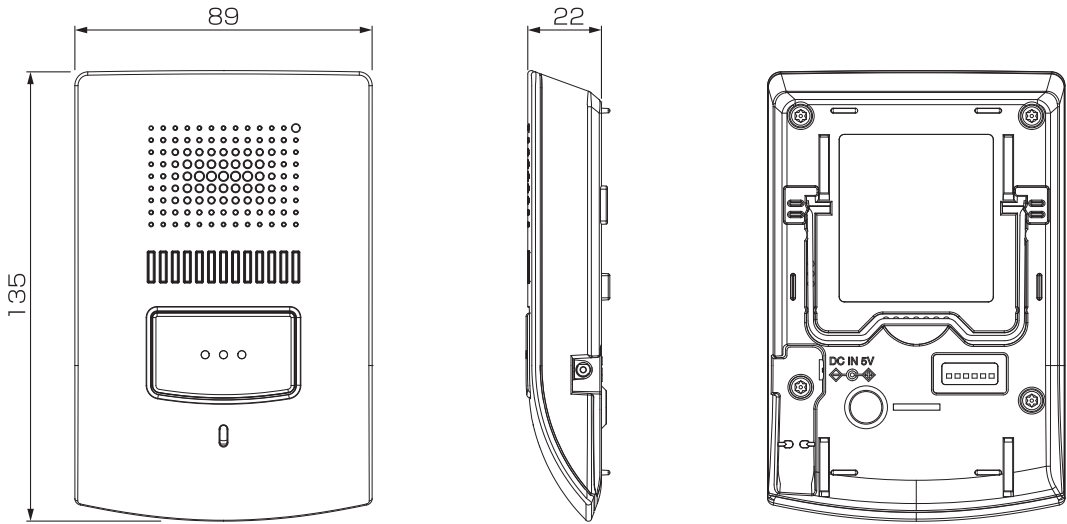
※2 自動応答設定をした室内子機は呼出音が鳴りません。

※3 玄関子機からは自動応答しません。

規格および仕様は改良により、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

## ■外形寸法

### 〈室内子機〉



(単位：mm)

※この製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。

## 保証書

型番		DWH10A1	
ご住所・ご店名 ご販売店	電話 ( ) -		
	電話 ( ) -		
お名前 お客様	ふりがな		
	様		
お住所	電話 ( )		
	電話 ( )		
お買上年月日	保証期間	お買上日から	
年 月 日	1 年間		

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

### ●無料修理規定

1. 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうことをお約束するものです。(消耗部品は除く)したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合わせください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客様の負担とさせていただきます。また、保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
3. 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申し付けください。
4. 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
  - ①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
  - ②お買上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
  - ③火災、地震、噴火、洪水・津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、塩害、ガス害、ねずみや昆虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。
  - ④塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
  - ⑤用途以外(例えば車面、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。
  - ⑥本保証書を提示・添付されていない場合。
  - ⑦本保証書にお買上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
5. 製品対価以上の保証はいたしません。
6. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
7. 期間中の転居、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。
8. お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

カスタマーセンター  
土・日・祝日もご利用ください!



0570-033-083

※全国一律料金でご利用いただけます。

(1908)

※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。

DXアンテナ株式会社  
4897-7

■受付時間 9:30~17:00 (夏季・年末年始休暇は除く)

■一部のIP電話で上記番号がご利用にならない場合: 050-3818-9016

ホームページアドレス

<https://www.dxantenna.co.jp/>